

第45回土木史研究発表会

1. 主 催 土木学会(担当:土木史委員会 <http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm>)
2. 期 日 2025(令和7)年6月21日(土)・22日(日)
3. 会 場 東京科学大学大岡山キャンパス西9館・西講義棟2
4. 参加方法 ハイブリッド開催(発表者は原則として対面ですがオンラインも可)
5. 参加費
 - ①参加費(講演集PDF配信込み)一般6,000円、学生3,000円
※ 第45回土木史研究発表会 総合案内ページより参加申込み手続きをお願いいたします。
 - ②『土木史研究講演集 Vol.45』 講演集のみ購入:PDF3,000円、オンデマンド印刷:実費 (事務局にお問い合わせください)
 - ③ シンポジウムへの参加は無料です。
※ 土木史委員会のHPをご参照のうえ、6月16日(月)までに事前の参加申込みをお済ませください。
【①②③共通】の申込み窓口「本部主催行事の参加申込」 <http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

※懇親会を開催予定です。

- 1)日 時 :2025(令和7)年6月21日(土) 18:30~20:00
- 2)会 場 :東京科学大学大岡山キャンパスつばめテラス
- 3)参 加 費:一般4,000円、学生1,000円(予定)
- 4)参 加 方 法:当日の研究発表会会場受付で申し受けます

6. シンポジウム

◇令和7年度土木史研究発表会シンポジウム「鉄道沿線のまちづくりと大学」(主催:土木学会土木史委員会)

- 1)日 時 :2025(令和7)年6月21日(土) 16:00~18:00
- 2)会 場 :東京工業大学大岡山キャンパス西講義棟1-301レクチャーシアター
- 3)参 加 費:無料
- 4)プログラム:「鉄道沿線のまちづくりと大学」に関するパネルディスカッション
太田 雅文(東急総合研究所)、山崎 鯛介(東京科学大学)、
馬場 信行(東京科学大学)、司会:真田 純子(東京科学大学)

7. エクスカーション

◇見学会「みなとまち横浜の土木遺産を巡る」(主催:土木学会土木史委員会)

- 1)日 時 :2025(令和7)年6月20日(金) 13:00横浜港ふかり棧橋集合(最寄みなとみらい駅徒歩15分) 17:00 元町・中華街駅周辺で解散予定
- 2)見学場所 :前半は港町横浜を支えた大岡川と堀割川を船で巡り土木遺産を見学、後半はまちを歩き横浜の歴史を学びます
- 3)定 員 :25名(予定)
- 4)参 加 費:一般 5,000円(予定、保険・資料代等含む、懇親会費含まず)
- 5)申込方法:詳細が決まりましたら、土木史委員会のHPにてご案内します

8. プログラム

◆6月21日(土)

時間	東京科学大学大岡山キャンパス西9号館 W9-326
8:45	開会挨拶 土木史委員会委員長
9:00	【地域・都市・臨海部】 司会:佐々木 葉(早稲田大学)
	1 勸進による社会基盤整備の特徴に関する通史的考察
1	西山健一((株)イー・エー・ユー)・篠原修
	2 豊洲の都市形成史に関する基礎的研究
9	町井 章(日本大学)・大沢昌玄
	3 わが国における工業港概念の確立と計画群
23	大森 文彦(東京科学大学)
	4 関東大震災復興土地区画整理事業地区の墓地の変化と取り扱いに関する研究
10:40	35 平田悠(元・日本大学)・大沢昌玄
10:50	【土木史とまちづくり(企画セッション)】 司会:阿部 貴弘(日本大学)
	5 喜界島阿伝集落におけるサンゴ石垣の保存・活用に向けた基礎的調査 ★
41	久宝真(熊本大学大学院)・本田泰寛・寺村淳・田中尚人
	6 歴史を活かしたまちづくり活動における活動主体の認識に関する分析
49	福岡美智(法政大学)・佐瀬優子・福井恒明
	7 伝統的な都市景観における石材利用に関する基礎的研究 ー長崎市東山手・南山手地区の石畳を事例にー ★
55	友寄広務(長崎大学大学院)・石橋知也・鄧伊玲
	8 大河津分水を踏まえた小学校における土木と川の学習モデルの検討
12:30	61 樋口 勲((株)エコノス)
13:30	【近世の城下町と基盤整備】 司会:出村 嘉史(岐阜大学)
	9 『会津家世実紀』にみる社会基盤整備に関する一考察 ー初代藩主保科正之を対象としてー ★
65	西山 孝樹(日本大学)・藤田 龍之・天野 光一
	10 地籍図を活用した江戸期城下町絵図の復元 ー大和郡山を例としてー ★
75	田中 滋夫((株)都市デザイン)・長嶋 秀和・阿部 貴弘・松野 祐太・中川 恵・伊藤 毅・篠原 修
	11 近世城下町大和郡山の都市設計論理 ★
81	長嶋 秀和((株)東京建設コンサルタント)・田中 滋夫・阿部 貴弘・松野 祐太・中川 恵・伊藤 毅・篠原 修
	12 長浜城下町の街区設計論理に関する考察 ★
87	松野 祐太(小野寺康都市設計事務所)・中尾 俊介・伊藤 毅・田中 滋夫・阿部 貴弘・長嶋 秀和・篠原 修
	13 城下町米沢における水路網の設計論理に関する研究 ★
15:35	93 會田 龍一郎(日本大学大学院)・阿部 貴弘
16:00	シンポジウム／講演会 会場:西講義棟I-301
	●シンポジウム「鉄道沿線のまちづくりと大学」 鉄道会社による沿線まちづくりと東京科学大学の歴史を中心としたパネルディスカッション 太田 雅文(東急総合研究所)、山崎 鯛介(東京科学大学)、 馬場 信行(東京科学大学)、司会:真田 純子(東京科学大学)
18:00	

発表15分／質疑10分

時間	東京科学大学大岡山キャンパス西9号館 W9-325
9:00	【水と土木史1】 司会:岡田 一天(プランニングネットワーク)
	14 旧長島町における昭和42年干ばつ前後の 水資源確保及び対策事業
103	本田泰寛(第一工科大学)・寺村淳
	15 天竜川の水力発電を切り開いた南向(みなかた)発電所
109	山浦直人(土木・環境しなの技術支援センター)
	16 大正期の愛知川扇状地に設置された農業用地下水揚水井戸の形式と立地 ★
115	仲井悠太(関西大学大学院)・林倫子
	17 洪水常襲地域の農業特産品生産にみる洪水と農業の共生関係
10:40	123 林倫子(関西大学)・牧 愛莉・真田 純子
10:50	【水と土木史2】 司会:中村 晋一郎(名古屋大学)
	18 近世最大の砂防施設群“別所砂留”(第八報) ー土石流の発生年代と規模の推定方法ー ★
129	樋口輝久(岡山大学)
	19 滋賀県大津市大物地区の百間堤と住民による伝統的水害・土砂災害対策 ★
133	落合 知帆(京都大学大学院)
	20 札内川の霞堤の導入過程と河道平面計画との関係 ★
139	實平 菜那(関西大学大学院)・林 倫子・榎本 碧・岩田 圭佑・寺村 淳
	21 水防建築「段蔵」の嵩上げ高と明治18年淀川洪水浸水高の比較 ★
12:30	147 豊田凌生(関西大学大学院)・林倫子
13:30	【土木史一般】 司会:天野 光一(日本大学)
	22 「土木」という言葉… ー「土木工学」がなぜ「civil engineering」なのか(考察)ー
155	松井 良太郎
	23 浮世絵「飛越の堺つりはし」の実在性の検証
163	玉田 和也(舞鶴工業高等専門学校)・森 美空
	24 日本庭園における橋の歴史的変遷について
169	松村 博
	25 19世紀後半オランダ統治下のジャワにおける 水文環境を考慮した森林管理制度
179	笹本浩子((株)ウィズウィグ)
	26 土塁保存原則における粒度分布曲線群の意義
15:35	189 福田光治(KGIE)

★ 土木学会論文集へ投稿予定の発表

* オンライン参加者

◆6月22日(日)

時間	東京科学大学大岡山キャンパス西9号館 W9-326
9:30	【戦後土木史(企画セッション)】 司会:大沢 昌玄(日本大学)
	27 戦後土木施設としての道路施設の歴史・文化的価値に関する調査の成果と課題 ー文化庁 近現代建造物緊急重点調査(土木)報告書 道路編の発刊にあたりー
	195 小澤広直(長岡工業高等専門学校)・紅林章央・橋本政子・佐々木 葉
	28 東北新幹線建設・埼玉県南および東京都に おける住民運動と合意形成過程に関する一考察
	207 高津 俊司((株)レールウェイエンジニアリング)
	29 高速自動車国道の整備・維持管理費負担のあり方の検討過程に関する研究
	215 植村 恒平(元・東京科学大学大学院)・真田 純子
11:10	30 昭和中期の嵐山一の井堰改築における構造検討と風致保全 ★
	221 中尾翔(京都大学大学院)・谷川陸・山口敬太・川崎雅史
12:40	【土木史と観光(企画セッション)】 司会:福井 恒明(法政大学)
	31 土木遺産ツアーにおけるインタープリテーションに関する研究 ★
	229 原口 征人((一社)北海道開発技術センター)・石川 成昭・品田 康太・岩田 圭佑・今 尚之
	32 平都宮石村軌道と大谷地域の観光発展の関わり ★
	233 松本葵衣(国土交通省)・中川嵩章
	33 日光電気軌道・日光登山鉄道の敷設過程における工業と観光の側面 ★
	245 伊東拓海(豊橋市役所)・中川嵩章
14:20	34 熊野街道 紀伊長島・尾鷲間における煉瓦隧道群の建設経緯と残存状況 ★
	257 吉川 慎平(自由学園)・小田 幸子・吉川 千春
14:30	【土木遺産】 司会:知野 泰明(日本大学)
	35 土木学会中国支部における選奨土木遺産の選定方針と認定の効果
	265 樋口輝久(岡山大学)
	36 昭和初期に築造された立山砂防の3堰堤の背景について
	269 松島吉信
	37 人吉盆地における農業用水遺構の分布と特性
	277 寺村 淳(大正大学)
16:10	38 横瀬二連水路橋
	285 池畑義人(日本文理大学)
16:20	若手優秀講演賞表彰 土木史委員会発表小委員会
16:30	総括および閉会挨拶 土木史委員会副委員長 田中 尚人
16:40	

発表15分／質疑10分

時間	東京科学大学大岡山キャンパス西9号館 W9-325
9:30	【測量・構造・設計】 司会:原口 征人(北海道開発技術センター)
	39 築石の接触状態の定量的評価のための振動計測手法の提案
	289 杉本 知史(長崎大学大学院)・針本 皓平
	40 津山城跡石垣の豪雨による崩壊後の背後地盤の変位モニタリング
	295 山中 稔(香川大学)・小林 恵・中澤博志
	41 滋賀県犬上郡豊郷町に設置された 農業用集水池の立地と井戸構造 ★
	301 鈴木瞳(NTTインフラネット(株))・林倫子・加藤直子
11:35	42 矢作川河川敷木杭列の年代推定と矢作川架橋の歴史について ★
	311 弓場翔太(名古屋工業大学)・庄建治朗・宮川洋一・李貞・中塚武
	43 土木の失敗学(その2) *
12:40	317 福島啓一
	【橋梁】 司会:松永 昭吾((株)インフラ・ラボ)
	44 歴史的橋梁から読み解く古の設計技術
	329 中西 帆香(舞鶴工業高等専門学校)・玉田 和也
	45 古河橋の歴史に関する研究 ー鋼とハーコートシステムの展開を中心にー★
	337 青木達也(宇都宮大学)
	46 肥薩線球磨川第一橋梁の現状及び構造的特徴
14:20	349 崔静妍((株)文化財保存計画協会)・矢野和之
	47 3つの遺産に寄り添う兄弟橋のデザイン ー有明筑後川大橋と有明早津江川大橋ー
	353 大波修二((株)オリエンタルコンサルタンツ)
14:30	【人物史】 司会:緒方 英樹((一社)アメノヒボコ土木サロン)
	48 笹流ダムと小野基樹 ～先輩技術者のスピリッツに学ぶ～
	361 畑山 義人((株)東亜エンジニアリング)
	49 明治後期民間土木技術者 村上享一の広報活動:「土木広報」の先駆者としての評価 *
	371 阿部成久(NPO法人 愛媛県建設技術支援センター)
	50 東京築港を経て、小川織三は初代水道局長に
	377 手島道人(NPO首都東京みなと創り研究会)・寺中 啓一郎
16:10	51 大正・昭和戦前期における土木技術者たちの交流 ー蒲字が残した絵葉書にみるー
	389 白井芳樹・小川紀一郎・是松慧美

★ 土木学会論文集へ投稿予定の発表

* オンライン参加者